

宗教的な元々の意味

- ▶ **山(やま)**:神道において「神が宿る場所」
水の恵みや木材をもたらす神が住む所(山全体がご神体)
山(せん・ぜん・さん・ざん):山岳信仰の拠点となる場所(仏教)
死者の魂が帰る場所、先祖の霊が宿る場所
(「賽の河原」となっている所もある)
- ▶ **峰・峯(みね・うね・ほう・ぽう・ぶ・ぷ)**
:山の中で、天に近く、神の力が集中する「場所」
神が降臨する「依り代(よりしろ)」
御神木、滝、大きな岩などのご神体も「依り代」
- ▶ **嶺(みね・れい)**:峰と峰が連なっている山容の場所
- ▶ **岳(たけ・だけ)**:山岳信仰の霊山として、修験者の「修行の場」(仏教)
(厳しい神の力が宿る場所)

仏教伝来前後の呼び方の例

▶ 立山の場合

雄山、大汝山:仏教が伝来する以前から大和言葉(和語)で呼ばれていた名前
浄土山、別山、真砂岳、龍王岳:仏教伝来以降に付けられた名前と思われる。
(同じ山系でも「やま」と、「さん」、「だけ」が混在する様になった。)

白山の場合の峰

仏教伝来以前は「越の白峰」「しらやま」と言われて、その後「はくさん」になった。
「白山」は山全体の総称で「御前峰(ごぜんがみね)」「大汝峰」「剣ヶ峰」が、
その中で突き出た「依り代」として「峰」が使われた。
白山の隣にある「別山」は、別山信仰の山とされていたと考えられ、美濃禅定道の
途中の突き出た「依り代」の「銚子ヶ峰」「一ノ峰」「二ノ峰」「三ノ峰」が有る。

山名を「さん」「ざん」と呼ばれるようになったのは

寺院が「山号」を冠する:中国・唐時代に禅宗寺院が山中に建立された際、所在する
山名を寺名に冠して区別したのが始まりで仏教伝来と共に、日本でも「さん」「ざん」
と呼ぶようになって、山名が無かった山も寺院の山号をそのまま山名となった。

⇒鎌倉新仏教になって山が無くても山号を引継ぎ

地方による山名の呼ばれ方の違い

伊吹山の場合(国土地理院の呼び方:「いぶきやま」)

^{けいこう}
日本武尊伝説:景行天皇41年(西暦111年頃)

- ・滋賀県側(近畿地方):大和言葉の「やま」山容が丸みを帯びて穏やか
- ・岐阜県側(東海地方):漢音読みの「さん」の所がある(山岳信仰の関係で地域より混在)

天台宗「覚心堂」を山頂に創建(9世紀後半)

御在所岳の場合(山の向きによって山容が異なる場合に山の名前が異なる例)
(国土地理院の三角点名:「御在所山(ございしょやま)」)

- ・滋賀県側の呼び方:仏教伝来以前から大和言葉の「御在所山」と呼ばれていた

「御在所」説1: 日本書紀に登場の倭姫命(やまとひめのみこと)が伊勢への旅の途中に
休憩する御座所(ござしょ)、仮の宮殿(頓宮・御在所)を設けた

説2: 神が宿る所で「神様がおられる場所(在すところ)」

(紀元前1世紀頃)

- ・三重県側の呼び方:「御在所岳」

9世紀初期「割谷の頭」下に天台宗「山嶽寺」創建

(岳不動尊奥)御在所岳は山嶽寺の修行の山となり、「岳」を使う様になったと思われる
「御在所」は神道、「岳」は仏教から来ており、本来ならおかしい

岐阜県に白山神社が多いのは

神仏習合時代⇒神仏分離令

- ▶ 白山を「水の神」「農耕の神」として崇めた。

- ▶ 白山信仰は人口が多かった尾張や駿河をひかえる美濃禅定道が一番、発展した。

- ▶ 禅定道:長滝白山神社—阿弥陀ヶ滝—檜峠—石徹白大師堂—石徹白中居神社—石徹白大杉
古 道:長滝白山神社—阿弥陀ヶ滝—檜峠—水後山—鎌ヶ峰—大日ヶ岳—天狗山—芦倉山—丸山—神鳩宮—三ノ峰
高山—森茂白山神社—尾上村—尾上郷—白川郷

白山信仰の拠点として各地に白山神(白山権現／白山妙理大権現)を勧請(分霊)して「権現山」と呼ばれる様になり、仏教の広まりと共に増えて行った。

不動明王が多いのは

天台密教・真言密教が大きく関係

- ▶ 不動明王は大日如来の化身とされ、白山権現(十一面観音菩薩・大日如来)の信仰と共に修行・信仰の場が増える
- ▶ 御嶽信仰の修験道も密接しており、修験者の本尊である不動明王は行場や滝などで古くから祀られた。
- ▶ 神仏習合時代、白山大権現や御嶽大権現の本地仏が大日如来である

別当出合の由来…役職である別当(寺院・神社を統括する長官)が合流した所
室堂の由来…修行を行うお堂と宿坊(室)があった

「○ヶ岳」「○ヶ峰」「○ヶ峯」「○ヶ山」

「岳」「峰」などに「ヶ」が組み合わさる例が多い

付く山: 檜ヶ岳(たけ)、大日ヶ岳(たけ)、八ヶ岳(たけ)、駒ヶ岳(たけ)など
霧ヶ峰、千ヶ峰、段ヶ峰、なども同様

仏教伝来と共に入ってきた呉音、漢音である「岳」の本来の読みは「ガク」(音読み)であるが読みにくいいため日本語読みの「たけ」「だけ」(訓読み)に変わった経緯がある。

両方とも訓読みではあるが、「たけ」で終わる場合に連体助詞を付ける

「だけ」で終わる山には「ヶ」がなく、「たけ」で終わる山には「ヶ」がある

付かない山: 奥穂高岳(だけ)、劔岳(だけ)、乗鞍岳(だけ)、荒島岳(だけ)など
付く山: 賤ヶ岳、八経ヶ岳、由良ヶ岳、三国ヶ嶽、如意ヶ嶽、爺ヶ岳、釈迦ヶ岳、瓢ヶ岳など

「山」に「ヶ」が付く場合は櫃ヶ山(ひつがせん)など山を「せん」と呼ぶ所が多い。

私的見解: 山岳信仰の中で荒々しさや強さ、威厳のある名前にするため連体助詞を付けた

弱々しさが感じられる名前、呼びにくい名前⇒カッコ良くしたり、語呂を良くする

大日岳・大日ヶ岳・大日山があるのは、どの山か判別出来るようにしたのではないかな？

岐阜県各地の権現山 権現:神仏習合(仏教・神道融合)時代の神号

各務原市:各務原権現山・尾崎権現山

岐阜市 :芥見(岐阜)権現山・岩井権現山・野一色権現山

関市 :轡野権現山(麓に白山神社)・武芸川権現山(白山神社)

揖斐川町:小津権現山(小津白山大権現)

川辺町 :権現山(川辺御嶽山・中腹に虚空菩薩堂)

大野町 :大野権現山(麓に白山神社)

瑞浪市 :瑞浪権現山、下呂市:下呂権現山

岐阜県各地の白山

揖斐川町 :能郷白山

岐阜市 :長滝白山

美濃加茂市:米田白山

白川町 :大山白山

美濃市 :白山

岐阜県各地の御嶽山(御岳山)

大垣市 :石津御嶽

関市 :御岳山

御嶽山信仰（修験道）

江戸時代の御嶽山の修験道は本山派（天台宗系）
武蔵御嶽山の修験道は当山派（真言宗系）

御嶽山の昔の呼び方:王御嶽（おんみだけ）

699年（文武天皇3年）役行者が伊豆大島へ流罪（この頃に海を越え、富士山に登ったという伝説？）

701年（大宝元年）役行者が天上ヶ岳（箕面市）にて「昇天」

702年（大宝2年）高根道基（信濃国司）が御嶽山山頂に蔵王権現を祀る社殿を創建

1785年（天明5年）覚明行者が黒沢口の開山

1792年（寛政4年）普寛行者が王滝口の開山…御嶽教・御嶽講の開祖

美濃地方で御嶽山の御嶽講の遥拝所として信仰が深まる

1882年（明治15年）「御嶽教」として政府から独立した教派承認



迫間不動尊・奥の院「役行者」



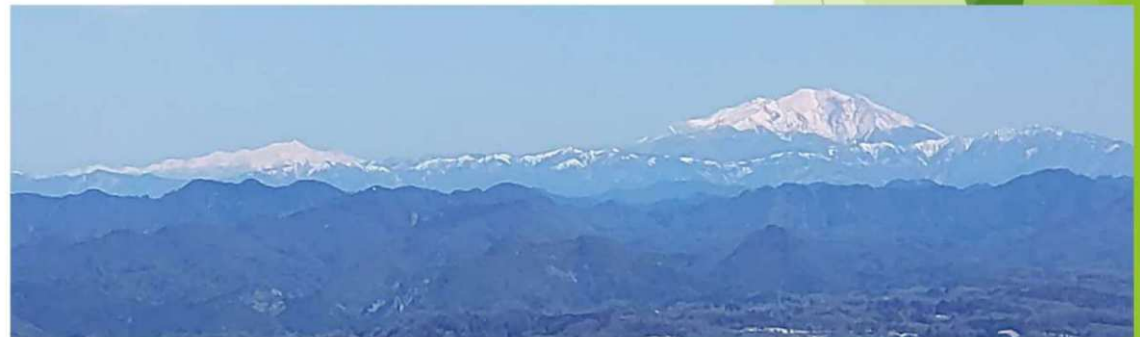
山王山・岩屋の
「役行者」



永昌寺の
「役行者」



多賀坂峠下の
「役行者」



迫間山からの乗鞍岳・御嶽山

江戸時代	円空上人・播隆上人の出来事
円空上人	1654 寺院での定住を捨て各地での修行開始 1660-1662 美濃国の各地で修行 1662 白山で修行 1663-1664 伊吹山にて山籠修行 1665-1666 蝦夷の地に渡り、修行 1666-1689 再び、伊吹山で修行 1679 園城寺(三井寺)にて「仏性常住金剛宝戒相承血脈」という戒律の血脈を授かる 1689/8 園城寺(三井寺)にて「授決集最秘師資相承血脈」の最高僧位の証を授かる 1689 廃寺となっていた弥勒寺を再興し、自坊とする 1690 笠ヶ岳を修行で登頂 1691 高賀山周辺で修行 1695 64歳で長良川河畔の自坊である弥勒寺(関市)にて入定(にゅうじょう)し生涯を閉じる
播隆上人	1820 南宮山にて修行(浄土宗) 1823-1826 伊吹山で「伊吹山禅定」や岩屋での本格的な山籠修行 1824-1826 南宮山にて修行 1826-1828 迫間不動尊で修行 1828 円空上人によって開かれ荒廃した笠ヶ岳の登拝道を再整備・槍ヶ岳登頂 1831 槍ヶ岳登頂・開山 1840 浄音寺(美濃加茂市)にて生涯を閉じる

御嶽信仰の山

岐阜市:金華山(御嶽神社は麓に降ろされた)

関市 :迫間山(迫間不動・八方不動)・百年公園(小屋名御嶽神社)

安桜山(安桜御嶽神社)・御岳山(小瀬御嶽神社)

坂祝町:城山(山頂に御嶽三大神の石碑)麓に御嶽大黒天

川辺町:権現山(川辺御嶽山)・八坂山(御嶽神社)

大垣市:石津御嶽(石津御嶽神社)

愛宕信仰の山

由来宗教:天台宗、本地仏:勝軍地藏菩薩、火防の神様

川辺町:米田富士(愛宕山/愛宕神社)・各務原市:愛宕山(愛宕神社)

関市 :愛宕山(関市武芸川町高野/愛宕神社)、愛宕山(関市・大洞城跡)

秋葉信仰の山

浜松市・火防の神様・秋葉山本宮秋葉神社

由来宗教:真言宗→曹洞宗、本地仏:秋葉三尺坊大権現

関市:寺尾秋葉山(柳島山)、川辺町:遠見山(秋葉神社)

金毘羅信仰の山

由来宗教:真言宗、香川県琴平町・水運、海運の安全、豊漁の神・金刀比羅宮

各務原市 :金毘羅山(金毘羅神社)

虚空蔵菩薩信仰の山

川辺町:権現山(川辺御嶽山)虚空蔵菩薩堂 天台宗・真言宗

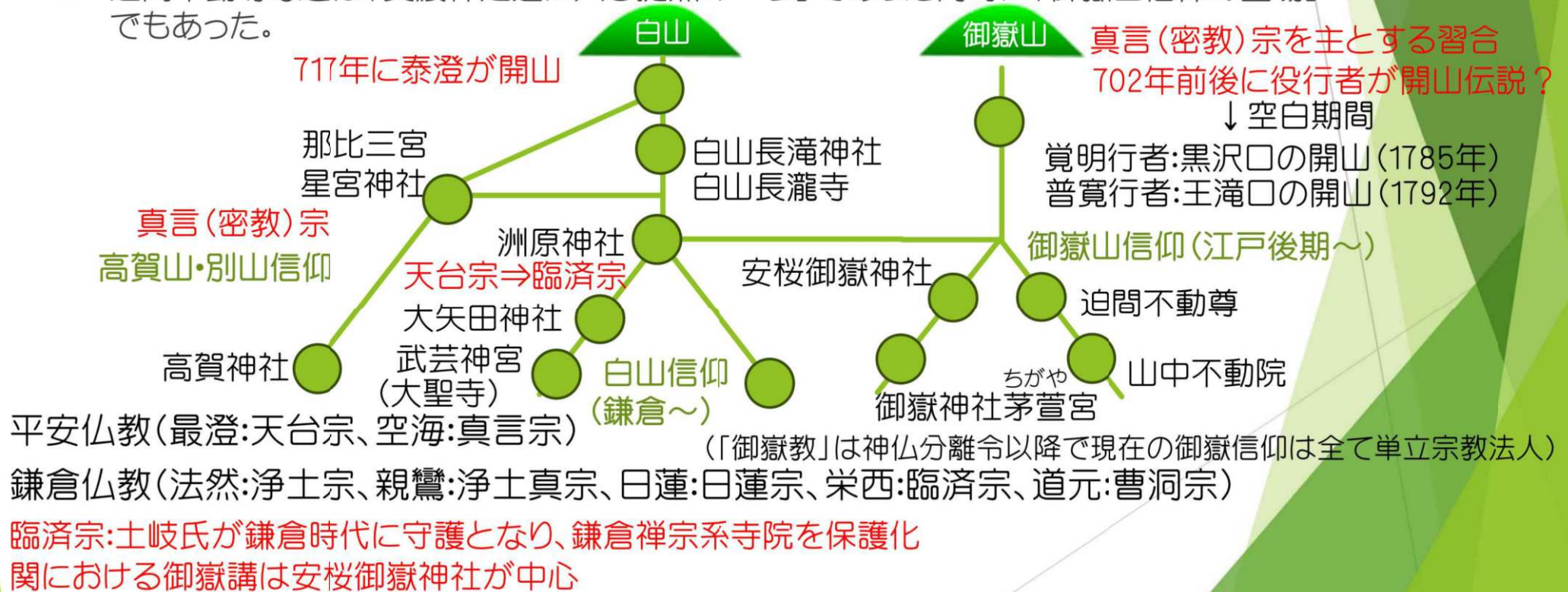
白山と御嶽山の重層信仰化

江戸後期に伊木山や迫間不動、伊吹山で修行して
笠ヶ岳・奥穂高岳・槍ヶ岳などを開山した播隆上人は浄土宗

- ▶ 中世における山岳信仰の修験道は、特定の山に「専属」することは弱く、行者は複数の霊山を巡り霊場どうしは道(禅定道など)によって結ばれていた。

それは、両者が共通する不動明王に関係

- ▶ 迫間不動尊などは「美濃禅定道に入る拠点の一つ」であった同時に「御嶽山信仰の霊場」でもあった。



臨済宗と浄土真宗の繁栄と臨済宗の白山信仰融合化

時代	時代背景
土岐氏守護時代	足利尊氏、源頼朝が特別に臨済宗を加護の影響（他、真言宗・天台宗などの禅宗） 臨済宗を加護 （他の宗派から加護を受けるため臨済宗に転宗）
斎藤道三時代 斎藤義龍・龍興	法華宗を加護 も臨済宗は勢力が肥大化しており、統制するため安堵した 義龍・龍興は浄土真宗（一向宗）を利用し加担していたが信長の美濃攻め以降は対立
織田信長時代	法華宗を加護 し、岐阜城下町の要所に法華宗寺院を配置 木曾川の川並衆は浄土真宗（一向宗）派の豪族で美濃攻め以降、織田側についた 蜂須賀正勝（あま市）、前野長康（江南市付近）、坪内利定（各務原市付近）など
豊臣秀吉時代	本願寺と和睦し浄土真宗を加護（本願寺本山敷地を寄進＝現在の西本願寺） 美濃でも浄土真宗を加護で活性化、信長と関わる法華宗は安堵するも加護はせず
徳川家康時代～	臨済宗 ：臨済宗僧である金地院崇伝を政治顧問とし法律の起草担当 寺請制度 （てらうけおい）：全住民をいずれかの寺院の檀家に強制的に登録 宗門改 （しゅうもんあらため）：キリシタン禁止調査、宗門人別帳に登録 寺院諸法度 ：寺院の軍事力・免税特権剥奪し幕府管理下に置く、寺院建立制限 禁中並公家諸法度 ：朝廷の政治介入制限、幕府が朝廷を管理する体制 浄土真宗：一向一揆経験で弾圧を避け分割と統制を選択（ 本願寺の東西分割 ） 浄土宗：美濃の地では現状勢力保持のみで 寺院諸法度 で増えず 法華宗：もともと少ない上、寺院諸法度（寺院建立制限）で増えて行かなかった

岐阜県の富士山信仰の山・神社・富士塚

- ▶ 全国に〇〇富士などと名付けられた山は3000以上ある。
- ▶ 「富士講」の発展と共に、富士山に登れない人のために近くの尖がった形の山が選ばれ
〇〇富士と名付けられ、頂上に浅間神社(祠)を建てたケースが多くある。
 - ①美濃加茂:山之上富士(富士山)、②下呂市:下呂富士(中根山)
 - ③高山市:蒲田富士、④高山市:飛騨富士(舟山)
 - ⑤高山市:日和田富士(継子岳):⑥揖斐川町・本巣市:徳山富士
 - ⑦可児市・多治見市:美濃富士(浅間山)、⑧大垣市:美濃富士(烏帽子岳)
 - ⑨川辺町:米田富士(愛宕山)、⑩多治見市:笠原富士
- ▶ 浅間山も富士山信仰＝富士講と関係ある
 - ①可児市・多治見市:浅間山、②中津川市:浅間山

「〇〇富士」と「浅間山」は山頂に浅間神社(祠含む)があるか昔、あった山
近年付けられた「〇〇富士」には祠が無い山もある。
- ▶ 富士塚がある神社
 - ①関市下有知(富士塚公民センター横):富士神社＝刀鍛冶との関係
 - ②大垣市墨俣:浅間神社、③岐阜市茜部:富士神明神社、④岐阜市中西郷:桜子神社
 - ⑤可児市:浅間神社、⑥岐阜市福富:三嶽神社(白山、立山、富士山)



大仏山付近の三大権現碑

白山:十一面観音菩薩
立山:大日如来
富士山:木花咲耶姫

美濃に臨済宗の寺院が多いのは

地方	浄土真宗	臨済宗	曹洞宗	真言宗	浄土宗	日蓮宗	天台宗/黄檗宗他
美濃地方	35%	35%	10%	5%	6%	4%	5%
(関市)	8.4%	43.2%	30.5%	6.3%	3.2%	1.1%	7.4%
西濃地方	65%	15%	5%	5%	5%	2%	3%
東濃地方	55%	20%	10%	6%	4%	3%	2%
飛騨地方	45%	10%	25%	8%	4%	3%	5%
岐阜全体	48%	26%	12%	6%	4%	2%	2%

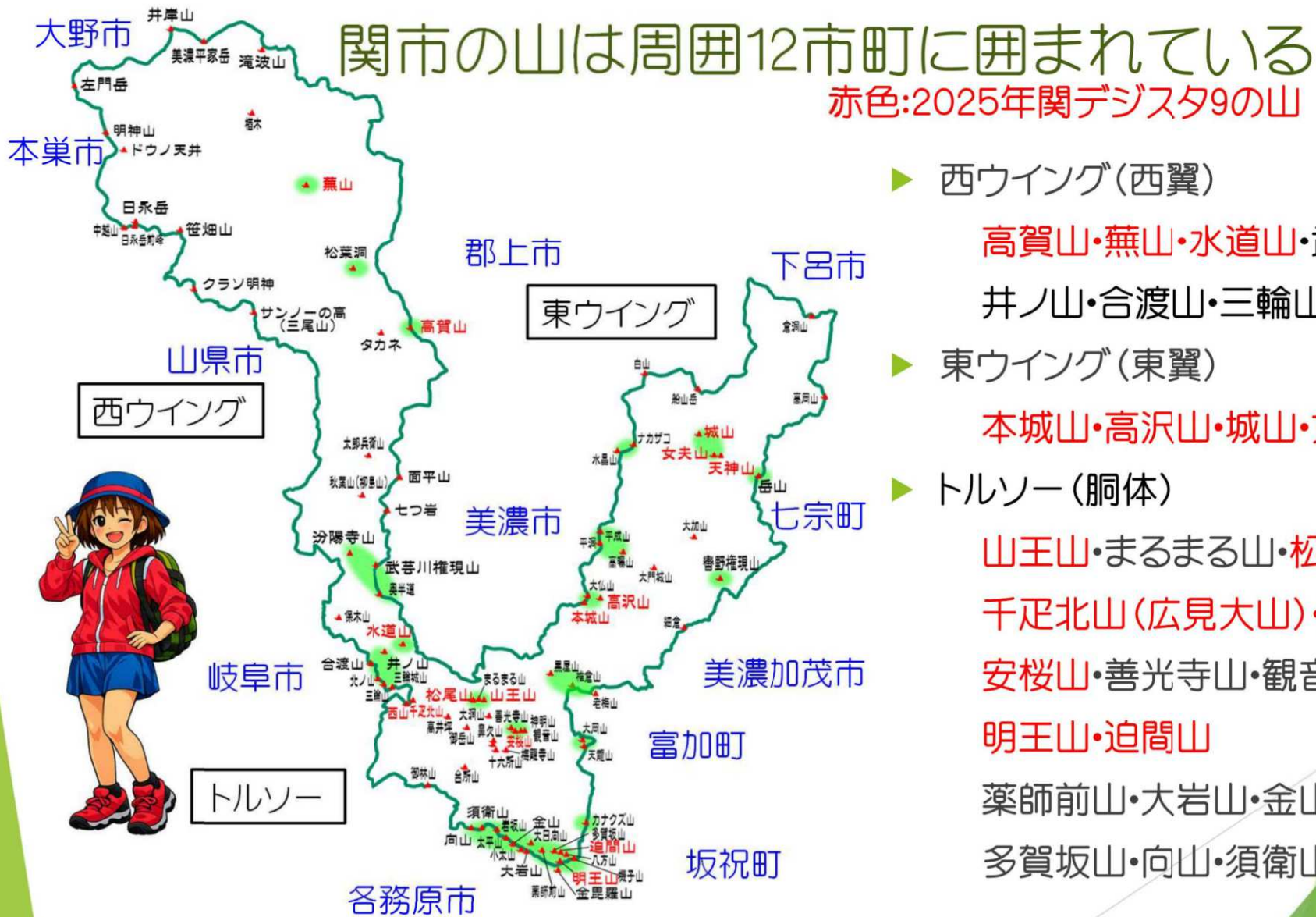
岐阜県での臨済宗派は約600と日本一(その内、妙心寺派は533)
美濃地方の臨済宗派の占有率が非常に高い

鎌倉・室町時代の幕府との関係

土岐氏は、足利尊氏や源頼朝と家系が繋がっている(清和源氏)
(摂津国の多田:現在の兵庫県川西市付近を拠点⇒美濃国に移住)

足利尊氏(臨済宗を加護)や源頼朝(真言宗加護他、禅宗を保護)が起因して美濃国守護であった
土岐氏が深く帰依し臨済宗寺院を創建や転宗(改宗)をさせた

関市と同じ様な傾向は山県市、美濃市、犬山市、一宮市、小牧市、江南市、岩倉市、大口町、扶桑町
岐阜市は浄土真宗45%、郡上市は浄土真宗84%、各務原市は臨済宗37%・浄土真宗33%



▶ 西ウイング(西翼)

高賀山・蕪山・水道山・武芸川権現山
井ノ山・合渡山・三輪山・三輪城山

▶ 東ウイング(東翼)

本城山・高沢山・城山・女夫山・天神山

▶ トルソー(胴体)

山王山・まるまる山・松尾山
千足北山(広見大山)・西山
安桜山・善光寺山・観音山
明王山・迫間山
薬師前山・大岩山・金山
多賀坂山・向山・須衛山・カナクズ山

関市の山について

関市の山:名前が付いている山は約75座くらい(藪山や雪山含む)

最北の山:井岸山(大野市境) 1419m

最西の山:左門岳(本巢市境) 1223m

最東の山:高岡山(下呂市境) 603m

最南の山:明王山(各務原市・坂祝町境) 383m

最も高い山:美濃平家岳(大野市境) 1450m(藪山)

最も低い山:大洞山(下有知) 標高103m

山岳信仰の山:高賀山・安桜山・迫間山・御岳山

武芸川権現山・轡野権現山など

城・砦があった山:本城山(小野城)・大仏山(神野城)

安桜山(関城)・椎倉山(椎倉城)

松見山(広見城)・大門城山(大門城)

十六所山(十六所山砦)・千足城山(千足城)

迫間山(迫間城)・愛宕山(大洞城)など

白山が見える山:

井岸山・高賀山・蕪山・轡野権現山・城山

高沢山・水晶山-ナガザコ間・滝波山(雪山)

本城山西尾根

御嶽山が見える山:

高賀山・蕪山・関南アルプス・井岸山・千足北山

轡野権現山・城山・山王山・平洞

高沢山・水晶山-ナガザコ間

本城山(西尾根)・岳山・滝波山(雪山)

三輪三山・千足北山(広見大山)



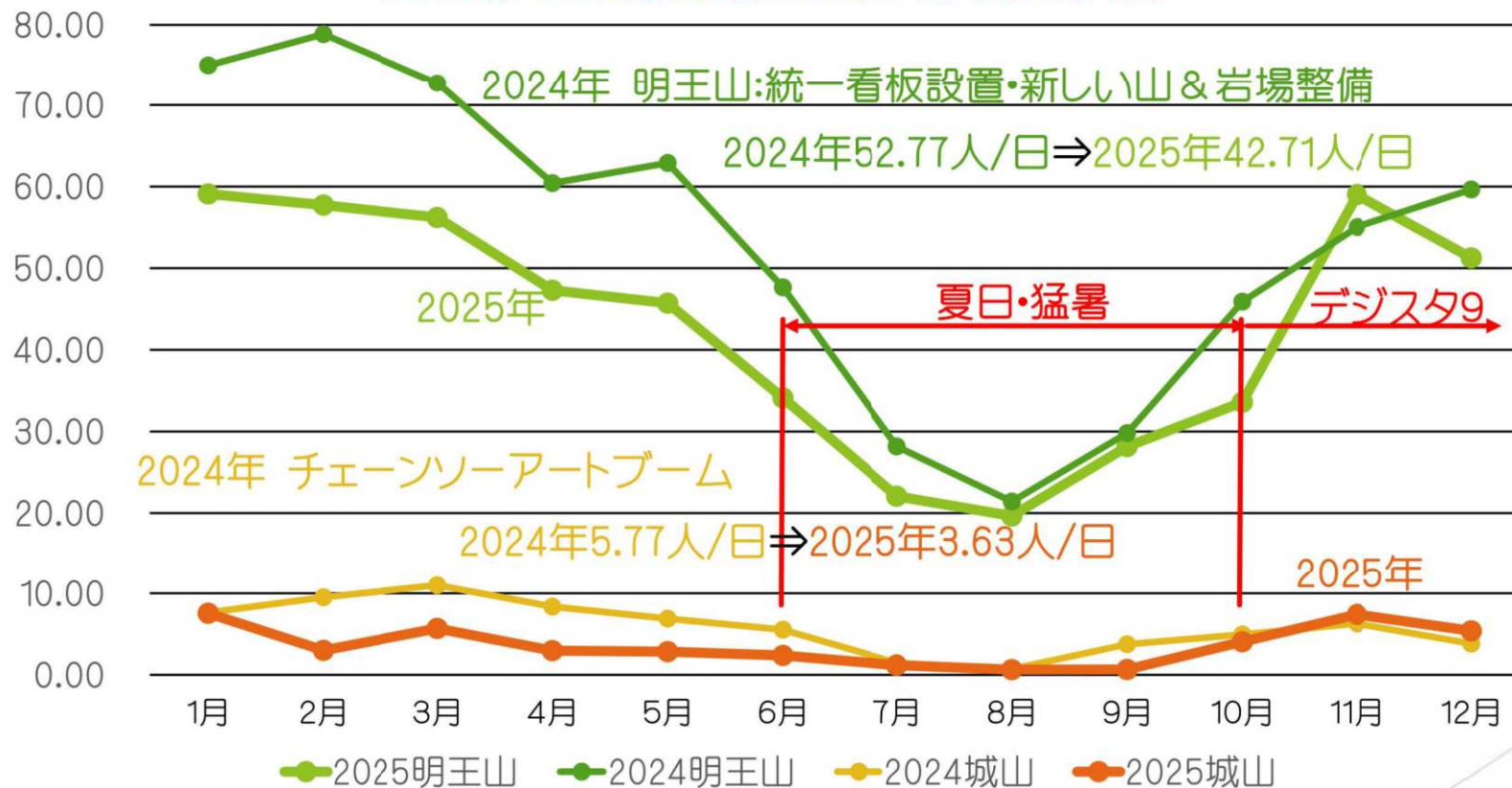
蕪山からの滝波山と白山

関市の山の登山者数 (2025.1~12 ヤママップ+ヤマレコ推計)

山名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計(人)	(日/人)
明王山	1,832	1,616	1,743	1,419	1,417	1,024	684	609	845	1,041	1,771	1,589	15,590	42.7
迫間山	1,196	1,168	1,256	1,047	1,035	695	435	343	543	717	1,248	1,139	10,822	29.6
薬師前山	956	995	1116	966	934	576	384	270	453	527	1,011	949	9,137	25.0
蕪 山	186	94	247	377	344	242	115	125	130	363	787	214	3,224	8.8
高賀山	237	126	202	461	400	315	196	200	207	493	802	202	3,841	10.5
城 山	226	84	176	89	88	71	36	20	20	126	222	167	1,325	3.6
安桜山	152	108	116	97	96	62	44	72	69	183	178	147	1,324	3.6
女夫山	223	84	169	91	81	69	37	19	20	121	218	162	1,294	3.5
松尾山	87	91	89	77	65	57	22	40	47	152	217	157	1,101	3.0
山王山	104	93	101	92	56	50	28	37	46	135	177	141	1,060	2.9
本城山	95	82	98	73	54	51	29	19	35	117	202	174	1,029	2.8
高沢山	92	66	100	71	52	45	26	19	38	127	212	177	1,024	2.8
まるまる山	88	84	84	79	64	59	43	45	56	102	149	117	969	2.7

明王山と城山(上之保)の2024/2025年登山者数(人/日)比較

デジスタ9で盛り返しは、したが前年より少ない



2023年までの各務原・関南アルプスの登山者数トップは金毘羅山(東海の百山)だった。



城山

【高賀山マップ】



【蕪山マップ】



サラサドウダン



シロバナフウリンツツジ



ベニドウダン



ドウダンツツジ

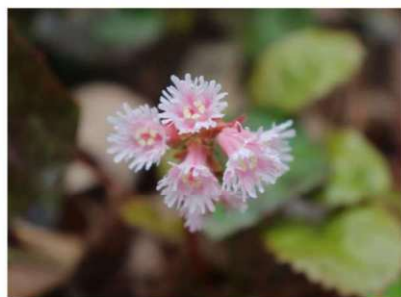


【各務原・関南アルプス マップ】

38



関南アルプス・春の花



ヤマイワカガミ



ヒカゲツツジ



ツクバネウツギ



コバノミツバツツジ



ササユリ



クチナシ



スルガテンナンショウ



ジガバチソウ

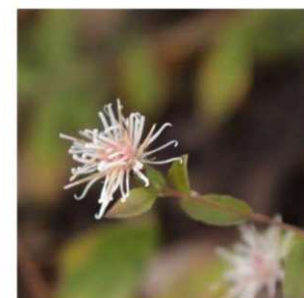
関南アルプス・初秋～晩秋の花



ミヤマママコナ



ヤマハギ



コウヤボウキ



キッコウハグマ



ハナワラビ



キチジョウソウ



ツメレンゲ



センブリ

お知らせ①:第9回 関市トレッキング教室 (主催:関スポーツ協会、受託運営:関山岳会)

- ▶ 9-1回目:八木山三山(各務原市)10/18(日)
- ▶ 9-2回目:相戸岳(山県市)11/ 8(日)
- ▶ 雨天等の場合は予備日11/28(土)に変更
9月から広報にて募集開始予定
今年は3回目を蕪山登山大会に変更↓



八木山山頂



相戸岳山頂



相戸白山神社

お知らせ②:蕪山登山大会

(主催:株杉の森づくり協議会、共催:関山岳会・キウイスポーツクラブ)

- ▶ 蕪山(関市) 11/22(日) 雨天の場合は中止
9月から広報にて募集開始予定



蕪山 株杉

お知らせ③:「せきデジスタ9」は今年も実施されます。

9月1日～来年の2月28日まで

皆さんお誘い合わせの上、是非ご参加ください



デジスタ9(高賀山)

蕪山の名前の由来は？

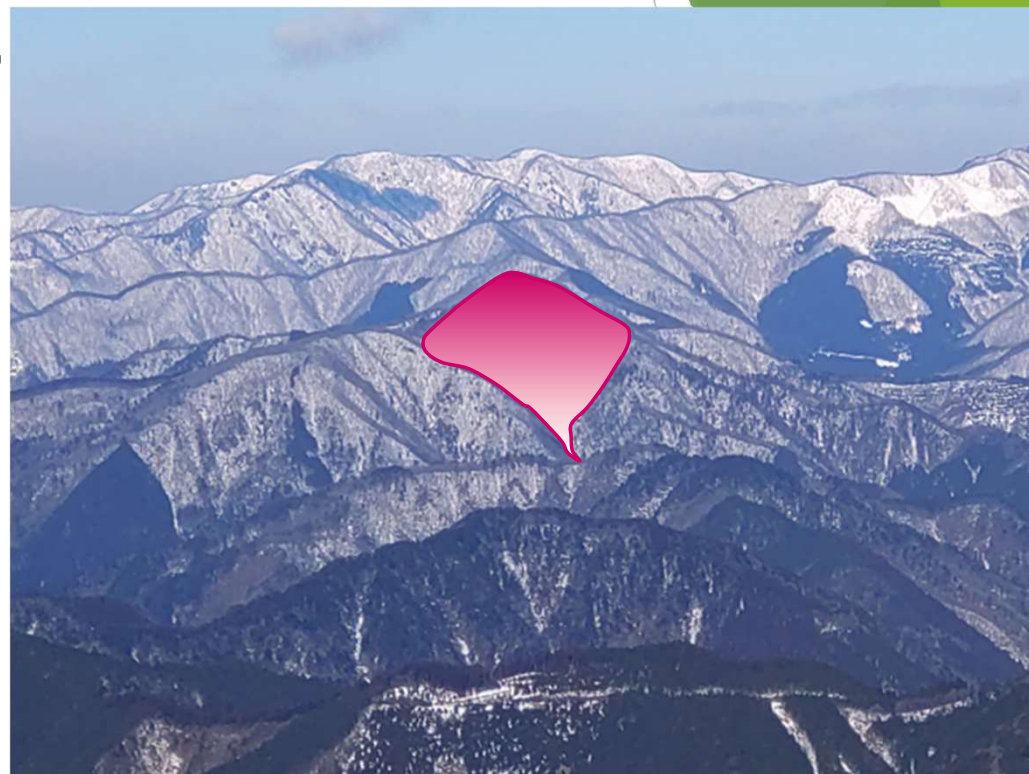
- ▶ 知らない人が株杉の株を蕪と間違えた説
- ▶ 麓で蕪を沢山、作っていた説？
- ▶ 山の形が蕪の様に見えた説？
しかし地元からは蕪の形に見えない！

高賀山からは蕪の様に見える。

瓢ヶ岳からは前の山に下が隠れる。

結論(個人的な見解)は

高賀山の修験者が蕪の形の山容を
見つけて命名したのではないか？



高賀山からの蕪山

関市登山デジタルスタンプラリー

2026 せきデジスタ9

関市の山9コース 17スポットに登ってせきpayを当てよう!
1ヵ所1ポイントから応募できるよ!

上級者から初心者まで
登れる山が沢山あるよ!
※積雪等で登れない山が出てくる
場合もありますので、
コンプリートを目指す方は
AコースBコースは早めの登り方!

令和8年 9/1 火 → 令和9年 2/28 日

せきの山に登ってみよう!

詳しくはコチラから↓

二次元コードを
読み込んで参加!

問い合わせ先 関市潤戸事務所 〒051-2812 岐阜県関市潤戸市場294-5 ☎0581-58-2111 (平日のみ)

株杉の森を歩こう!

標高
1,068m
中級者向け

株杉の森の
息吹を感じて、
心も体も
リフレッシュ!

蕪山 登山大会

自然と仲間と、最高の景色へ

山頂付近の絶景!

神秘的巨木「株杉の森」!

分岐を確認して安心登山!

もろちん

令和8年

11月22日

雨天の場合は中止とします。

かぶらやま

蕪山について

標高1,068m。少し岩場の道や厳しい道があるため、
中級程度の登山レベルが求められます。
登山を楽しむと同時に、登山入り口付近にある
“株杉の森”もぜひお楽しみください!

- 集合時間 8時30分
- 集合場所 関市21世紀の森公園 森林学習展示館

駐車場完備!十分な駐車場数は確保されていますが、
他の登山者や家族等もいますので、乗り合わせにご協力をお願いします。

- 募集人数 60名(小学生以上)
- 参加料 お一人 500円
市保険料・参加特典を含みます
- 登山目的 グループでの登山を行い、
グループ全員の登頂を目指します。

集合場所：森林学習展示館

主催：株杉の森づくり協議会 協力団体：関山岳会

イベント中に撮影された写真・動画は、SNSや広報等への掲載を目的に利用する場合があります。
それらの使用については参加をもって同意されたものとさせていただきます。